



長野県民生児童委員だより

つなぐ

Vol.150

2023 Spring

令和5年4月1日

発行人 長野県民生委員児童委員協議会連合会
会長 伊藤 篤志

編集人 広報委員会
委員長 荒深 たつ子

〒380-0936
長野市大字中御所字岡田98番地1
(長野県社会福祉協議会内)

特集

広報委員4人の座談会

定例会運営からコロナ禍の経験まで

Contents

- ◆ 特集 広報委員4人の座談会
定例会運営からコロナ禍の経験まで 2~5
- ◆ 5月12日は「民生委員・児童委員の日」です 5
- ◆ 民児協訪問
安曇野市豊科地区民生児童委員協議会 6
小諸市東部地区民生児童委員協議会 7
- ◆ 民生委員児童委員協議会会長研修
オンライン情報交換会が開催されました 8

特集

広報委員4人の座談会

定例会運営からコロナ禍の経験まで

民生児童委員だより「つなぐ」は、県内4地区から4人の広報委員が、3カ月に一度企画会議を行って編集しています。コロナ禍で2回の休刊がありました。過去3年の広報委員の任期中、140号から150号まで10冊を発行いたしました。昨年12月6日広報委員会で、座談会を行いました。コロナ禍での葛藤や定例会運営について、話し合いの内容をご紹介します。

※2019～2022の前広報委員の皆さんに協力いただきました。

定例会運営の基本とヒント

司会：月岡幽美子（以下、司会：月岡）
それぞれの定例会の現状をお話してください。

山口三千夫（以下、山口） 上田市真田町は、民生児童委員が30人で、比較的大きな単位民児協です。定例会には、行政から3人、社協から2人が出席します。年3回は小中幼保や福祉施設の責任者約12人が参加して、合同定例会も行います。また施設訪問を年2回、救命救急講習を年1回実施しています。

通常の定例会後には、総務部会を年4回開催し、3カ月ごとの事業計画と会議内容を決めます。総務部会

は、会長1人と副会長2人、女性代表1人、4つの専門部会の各会長、計10人で構成。定例会後に懇親会を年3回行っています。

赤羽節夫（以下、赤羽） 松本市里山辺地区は、人口増加地域で22人から23人に委員が増えました。定例会は、最初に会長のあいさつがあった後、当番が、日ごろの活動で感じていることを自由に話します。毎回、行政担当、松本市社協・包括支援センターから7、8人が出席し、連絡事項を発表します。松本市の会長会からの伝達事項や、地区の行事計画、それらの分担や進め方などの話し合いが大部分を占めます。情報交換の場として、常会ごとに悩みごとを出し

【座談会メンバー】（敬称略）

- | | | |
|-------|--------|-----------------------|
| 月岡幽美子 | 前広報委員長 | （飯山市木島地区民生児童委員協議会会長） |
| 山口三千夫 | 前広報委員 | （上田市真田町民生児童委員協議会会長） |
| 赤羽節夫 | 前広報委員 | （松本市里山辺地区民生児童委員協議会会長） |
| 林みな | 広報委員 | （岡谷市岡谷地区主任児童委員） |

主任児童委員と情報交換をします。松本市全体の部会に全員一ツ参加するため、各部会の研修について定例会で発表します。交流は、研修や旅行行事の係が主体となつて動きま

林みな（以下、林） 私の所属する岡谷地区は、民生児童委員が9人と少なく、顔の見える関係です。定例会では、会長が伝達事項を説明し、行事などの打ち合わせをします。

会議は約1時間とコンパクトで、後半の30分は9人でわいわいと活動状況や悩みを出し合い、同じ目線で意見交換をし、とてもいい雰囲気です。各委員が岡谷市全体で年3回、4つの部会に必ず所属し、福祉施設などの見学や研修などで学びます。交流では1年ごとに日帰り宿泊の研修旅行を自由参加で計画します。

司会：月岡 飯山市木島地区は、民生児童委員8人で構成しています。定例会では行政からの報告やお願い事項は正直多いです。なぜなら、飯山市は除雪支援が大きく、訪問して



月岡 幽美子 さん

申請書を書いてもらうなどの手間があるからです。定例会での情報交換は、一人ずつ発言をします。また、地区の行事は区長と民生児童委員が一体となった自治会組織で計画し、毎年行っています。事務局がしっかりとっていて、困ったらお互いに相談しましょうという体制ができていて助かっています。

互いを尊重し発言しやすい雰囲気作りのコツ

司会：月岡 さて、2022年秋の改選後はどうですか。

山口 真田地区では、今回の改選で30人のうち2人しか継続しなかったのです。真田町の定例会はみんなが新人だから、逆にしゃべりやすいと思います。定例会は、自由発言が基本で統一の結論は設けない方式をとっています。人の活動に対して反論（否定）は絶対しないというルールもあります。

司会：月岡 行政も巻き込んでいますか。

山口 行政は民生児童委員に対して意見は言いません、支えている側なので、定例会などで民生児童委員の意見を受け止めて、解決への活動をバックアップしてくれています。

司会：月岡 委員自身が地域の問題を提起するのですか。



山口 はい。課題解決の手法では、違つ委員からは違つ発想が生まれてきます。地域によって状況が違つ条件下では、無理な統一方針ではなくて、その地区のことは担当委員に任せるというスタンスで、互いに尊重し合っています。

林 人数が少ないので、岡谷地区はこじんまりがメリットです。例えば街を徘徊する当事者について相談を全体に投げかけると、こうしたらとすぐ提案し合えるのはありがたいです。皆さん定例会の時間の目安はどうしていますか？

司会・月岡 各地区の規模によりますが2時間ぐらいがいいと思います。
山口 県としても民生児童委員の活動の6割は定例会議に出席することだと示しています。

司会・月岡 おつしやる通り、まず定例会に出席することが大事で、想像力を膨らますことができて初めて不安を少しでも解消して日頃の活動ができるのではと考えます。

福祉委員などと連携した複数での見守りを

赤羽 定例会に包括支援センターの相談員は出ますか。包括支援センターについて正直、最初はどつという機関が分からなかつたです。介護認定を受けている人が主な対象かと。民生児童委員は、それ以前の段階で手を尽くすという使命がある、いわゆるフレール（要介護に至る前の状態）対応かと捉えています。

司会・月岡 でも包括支援センターに相談してしまつて、私たちは全く手を引いてしまつていかつという疑問もあります。ですが、委員一人での活動は荷が重いのでつなぐことが大事ですね。

山口 上田市の場合は30戸に1人「福祉委員」が配置されています。福祉委員が民生児童委員と連携をとつて、見守り訪問もやっているのです。市民と民生児童委員の中間に福祉委員がいるというイメージです。

こつした地域の連携がなかつたら、民生児童委員自身、一人ではやっていられないと思つのです。高齢化で若者がいなくなり、さまざまな課題

を委員だけに委ねても全部に関わることができません。地区のいろいろな団体との連携を積極的にしていかないと、活動を維持できなくなつてしまいます。

赤羽 松本市では昨年から、全地区に1人ずつ社協が委嘱する「生活支援員」が配置されました。定例会にも必ず出席します。民生児童委員と地域の活動を結びつける重要な役割をしています。

司会・月岡 具体的にどんな活動に つながっているのですか。

赤羽 里山辺地区の事例としては、生活支援員が地域と福祉をつないで、ボランティアが集まり「つながるつな会」を作りました。町会長、元町会長、元民生児童委員、現委員が強制参加ではなく、自らボランティアとして参加しています。

司会・月岡 民生児童委員のOBも参加できる仕組みなのですね。

赤羽 はい。民生児童委員は任期を終えると地域との関わりがほとんどなくなつてしまいます。地域福祉の層を厚くするために、やりたい人たちが集まつて地域福祉への関与を継続していくことが大事です。具体的に「歩こう会」を組織して、地区にベンチを作つて設置。「さとカフェ」を立ち上げ、2カ所での開催が実現しました。生活支援員の活躍で地域に横のつながりを作ることができたのです。

山口 いいですね。真田町の場合、福祉委員は社協の所属で2年交代です。福祉委員と一緒にに行けば、課題を抱えている当事者の相談の場に入つていけます。クッションとして福祉委員が入つただけなのは助かります。

司会・月岡 地域に福祉人材が増えていくのはいいことですね。上田市では福祉委員はそもそも、どつできたのですか。

山口 音頭をとつたのは真田町でした。一方、横須賀市の先行事例として福祉推進委員ができ、福祉推進委員が全国に広がつていきました。真田地区では最初はこの福祉推進委員と福祉委員は両方民生児童委員の補助にしていたのです。でも世の中の状況が変わつてきて、福祉推進委員は独立した組織になりサロンなどの集まりごとをやるようになりました。そして今、高齢化がさらに進み、複数での連携した見守りが必要となつてきました。



山口 三千夫 さん



林 みなさん

民生児童委員のなり手不足とOBの活用

司会・月岡 飯山市では民生児童委員のなり手がなかなか見つからないため、区長が兼務している場合もあります。福祉推進委員設置には程遠い感じがします。しかも80%の委員が1期で交代してしまつたのです。

山口 見方を変えると、1期で交代する委員が多いということは、福祉経験者がたくさん輩出されるということではないでしょうか。

林 同感です。それこそ赤羽さんの松本市里山辺地区のようなOBも参加できる活動団体への発展はいいですね。

山口 そつは言つても、民生児童委員は通常、退任するとなぜかピタッと福祉活動をやらなくなるのです。次の民生児童委員に邪魔になるという理由からかもしれません。

赤羽 わかります。ですから、そついう遠慮の気持ちを持つ退任者が、

気軽に入れる福祉活動の組織を作つてやることは大事だと思います。

林 見識の深い会長経験者が旗揚げして、ぜひボランティア組織を作つていただけたらいいですね。

赤羽 家族と同居しているものの就労や就学で、昼間は実質的に一人暮らしになるお年寄りには、見守り対象から外れてしまいます。こうした場合に、松本市では生活支援員に情報を伝えると対応するケースが動き始めています。まさに福祉の間隙を埋める存在です。こうした「生活支援員」の制度が長野県全体へ広まればいいなと思います。

民生児童委員のなり手とその役割とは

山口 民生児童委員は事故などの危険を避けるため、夜は絶対活動しないの方針を貫いています。自治会の役員は昼間自宅に不在の方が多く、なにかあれば民生児童委員へ連絡となります。すると、なり手がますます難しくなります。

司会・月岡 民生児童委員の活動にはやる気が必要だと思えます。やりがい・想像力・気つきが、委員に求められますが、時間や心の余裕がないとなかなかできないとも感じています。

赤羽 若い方で仕事をしている委員

が、お休みすることは仕方ないと思えます。連絡をきちんとして、資料を渡して確認しながら、仕事優先でやつてもらっています。

山口 長野県全体で6割の委員が1期で退任する原因の一つに、当事者からのプレッシャーがあります。お金を貸してほしい、貯金をおろしてきてほしい。買い物をしてきてほしい。病院へ連れて行ってほしいなどです。これらは民生児童委員はやらないようにします。

司会・月岡 お断りする際に、その人たちをどう救うかを考えなければいけないですね。

山口 解決の手法を教えてあげればいいのです。本当は自分でできたとしても、「楽をしたから頼りた」という場合も実は多いのです。

とにかく、聞いてつなぐことです。
林 もし、自分に判断がつかないときは、定例会で、話し合つて対応していけばいいと思えます。

山口 その通りですね。困つたことはその場ですぐ答えを出さずに、委員同士相談してみたらどうでしょうか。

赤羽 ある民生児童委員が、救急車に同乗してしまつたことが一度ありました。松本市では、それは断つてくださいと徹底しています。個人と委員の仕事との線をはっきり引いておくことが大事です。

山口 自治会のメンバーとの関係づくりを大事に考え、民生児童委員が発言できる場を作ることも大切だと思います。

コロナ禍で「つなぐ」の記事を有意義に活用

赤羽 私は3年前に会長に就任してすぐにコロナ禍となりました。行事が中止となり、活動さえも制限されてきました。どうしたら民生児童委員活動を継続できるのか、最も考えた3年でした。

司会・月岡 コロナ禍で特別にしたことはありますか。

赤羽 まず、450人の一人暮らしの方に困りごとアンケートを実施をしました。一番の困りごとは「外出できない、人と人の結び付きの希薄化」でした。健康への不安やゴミ出しや買い物など日常生活の困りごと。そして災害に対する不安もありました。町会長からも民生児童委員には、お



赤羽 節夫さん



年寄りへの声かけや安否の確認への要望が大きかったのです。改めて委員の任務を再認識しました。ですので、訪問だけは絶やしちやならないと継続してきました。

もう一つは手作りの新聞です。「つなぐ」(145号)の特集で取り上げた「訪問だより」を参考に、地区の委員全員で考え話題提供をし、宣伝にもなりました。

林 私は主任児童委員なのですが、コロナ禍で行事も減り情報が入ってきませんでした。赤ちゃん訪問だけはかさずやりましたが、来てほしいという方がいる反面、断られることもありました。そこで「訪問だより」を活用し訪問者の方々に読んでいただくことでつながりを作ってきました。

山口 コロナ禍で、民生児童委員の活動は無理しないように声をかけました。委員自身が罹患してはならないからです。何かあったら気軽に連絡してくれと、地域でPRをしました。

司会・月岡 コロナ禍でも、気になる人にはしっかりと訪問して見守っています。自然体で一人ひとりの状況に合わせて無理なくやってきました。介護予防教室はなんとか開催しています。

林 「つなぐ」の編集では、情報発信を通じ民生児童委員活動について知識を深めていただきたいという想いで力を入れてきました。この広報委員の4人が一丸となつていいものが作れたと自負しています。

山口 つなぐの記者と一緒に、当事者を訪問し発信したいと思っていましたがコロナ禍で叶わず、今後に期待したいと思います。

司会・月岡 この4人はこれで、広報委員の任期を終えました。ご理解ご協力に心から感謝申し上げます。

5月12日は「民生委員・児童委員の日」です。

全国民生委員児童委員協議会(当時)では、昭和52年(1977年)に毎年5月12日を「民生委員・児童委員の日」と決めました。これは民生委員制度の源である、大正6年(1917年)5月12日の岡山県済世顧問制度設置規程の公布日に由来します。今年も5月12日(金)から18日(木)までの1週間は、全国一斉に民生委員・児童委員の活動強化週間となります。地域住民の皆様をはじめ、関係機関や団体等に私たちの活動を正しく知ってもらい、理解を得て、地域との関係づくりを強化することを目指しましょう。また、週間の活動を通じて、私たち自らの意識も高め、民生委員・児童委員活動を発展させましょう。

① 民生委員・児童委員を正しく知ってもらいましょう。

- ・ 民生委員・児童委員は、厚生労働大臣から委嘱されたボランティアです。
- ・ また、守秘義務を有した地域住民の身近で、安心できる相談相手であり、悩みや困っていることの専門機関(行政や社会福祉協議会等の専門職)へのつなぎ役です。

② 地域の皆様に地域の福祉課題に関心をもってもらいましょう。

地域の福祉課題を広く地域の皆様に伝え、地域全体で解決に取り組むことを呼びかけましょう。例えば、「誰も孤立しない地域をつくろう」「高齢者に優しいまちをつくろう」「まち全体で子どもたちを見守り、育てよう」といった目標・標語を掲げることが考えられます。

取り組みの
視点

強化週間の
活動の
具体例

- ・ 児童の登下校の見守り、あいさつ運動
- ・ 関係機関への民生委員・児童委員名簿の送付
- ・ 市町村の広報紙や防災無線、地元ケーブルTVなどを利用したPR
- ・ 防災マップの見直し、連絡網の整備など

訪問



記者が地区民児協におじゃまし、会長や委員とコミュニケーションを図って、第三者の目でレポートしていく「訪問」コーナーです。

次は、アナタの民児協にお伺いします

民児協
だより



安曇野市豊科地区民生児童委員協議会



▲集合写真（前列中央が増田早苗会長）。

62名の大所帯を束ねるコツは、
地区や部会を大事にした民主的な運営

「私はただ、委員の皆さんによろしくと頭を下げるだけ」と謙虚に話すのは、増田早苗会長です。豊科地区は62名という大所帯だからこそ、協議会の運営は役割を明確にして、合議と納得の上で進めています。定例会は事前に会長と会長代理、事務局で準備。年6回は各地区と主任

児童委員から事例発表をして、一つのケースについて考えます。また通常は定例会後に、地区会を開催し、丁寧に課題を共有しています。

今回の取材では、定例会後に16人の役員で会議をセッティング。豊科南部・南穂高・上川手の5地区の会長と、児童福祉・高齢者福祉・障害者福祉の正副部長、主任児童委員長と企画委員長、そして監事2人も出席、全員から事業の説明がありました。

「高齢化はもちろん、移住者が多くアパートが並ぶ地域もあり、認知症や引きこもりなど、課題が多様化している」と話すのは会長代理の須永信行さん。

地区会長の一人からは「新人委員に対して研修を企画し、再任委員がサポートする体制を整えている」。高齢者部会長からは「コロナ禍でこの3年、委員同士の顔が覚えられなかった。今後はコミュニケーションを通して楽しい活動に」と意欲的な発言も。一方で経験の長い委員からは「買い物へ行く足の確保が課題、



▲役員16名と市の事務局による取材の様子

NPO法人と協力し移送支援をスタートした、他地区でも検討を」との意見も出ました。

また「子育て通信」は豊科民児協の誇りと増田会長。30年にわたり主任児童委員会で編集。3月で72号目となり、5月の活動月間での配布や福祉施設などを通じて当事者の手に届けています。さらに安曇野市は、包括支援センターや医療機関との連携がスムーズなことも知られています。

委員の女性比率が半数近くとなり、副会長5人中4人を女性が引き受けたのも「会話を大事に和気あいあいと進めたい」との増田会長の包容力ある人柄のなせるところではないでしょうか。

小諸市東部地区民生児童委員協議会



▲令和3年度の全国民生委員児童委員連合会表彰に喜びの表情。

「しなぐ」役どころとして無関係な話題はない。何でも話して何でも活動のヒントにする。

千曲川河畔から浅間山麓まで起伏に富んだ風光明媚な地形に恵まれ、北国街道の商都として栄えた名残りも色濃い小諸市。東部地区民児協は、駅周辺の標高600mの市街地から2000mの高峰高原までを南北にカバーしています。中国との行き来に明け暮れた企業を定年退職し、畑仕事を楽しんでいたら声がかかったという中山孝一会長は「何も分からないのに最

初から会長になって3期目」と苦笑い。18人の委員のうち続投は7人で、マスク姿のまま1期で辞めてしまった委員も多いのには「いろいろ活動を活発できるのに」と残念そうです。2月の定例会で開口一番は「ヤクルト持参の見守りも研修会も再開できる」でした。定例会では「この場で言うなら愚痴も愚痴ではない。誰かが拾い上げるし、みんなの勉強になる」と、話しやすい雰囲気作りを心がけています。事の大小も、民生児童委員の役割なのかどうかも気にすることはなく、というのが中山会長の持論。「しなぐ」役どころとして、無関係な事は一つもないと考えるからです。

率直な意見を出し合うには信頼関係が大切で、そのために委員間の親睦を深める努力も。浅間山の麓でバラ園を経営している委員がいたら、そこでお茶会を、高峰温泉で宿泊トレーニング交流を。観光資源に恵まれた地元再発見の意味もあります。おかげで「東部地区は仲良し」の評判もたち、親睦活動復活も切実な願いです。

小諸市は、姉妹都市の富山県滑川市の小学生との交流事業を行



▲前列中央が中山孝一会長(72)。女性委員が圧倒的に多いのが特徴。

表紙写真募集!!

表紙を作品発表の場、地域の紹介の場にと考えています。日ごろ写真を趣味にしているらっしゃる民生児童委員の方々、OBの方々の写真を募集します。自薦他薦は問いません。地域の風景やお祭りなどの風物詩がテーマです。

デジカメで撮った作品の電子データをCDRまたはUSBメモリーに入れて、撮影者のプロフィール、写真の内容に関する説明を添えて、つなぐ事務局までお送りください。

お問合せ 長野県民生委員児童委員協議会連合会事務局 TEL026-225-1613
メール: nminji@nsyakyo.or.jp 〒380-0936 長野市大字中御所字岡田98番地1 長野県社会福祉協議会内



表紙写真紹介

阿智村
花桃の里





(長野県・長野市・松本市委託) 民生委員児童委員協議会会長研修 オンライン情報交換会が開催されました。

2月10日(金)、動画による単位民児協会会長研修を補完するため、長野県社会福祉協議会主催の「オンライン情報交換会」が開催されました。助言者としてルーテル学院大学市川一宏教授も参加したこの情報交換会の一部をご紹介します。

参加者からの課題提起

～「民生委員はどこまで踏み込めばよいか?」～

地区内に大きな団地があるが、そこに住む方との付き合い方、どこまで踏み込んで良いのか? 団地内の独居高齢者宅を訪問した時のこと、応答がないので警察に依頼し室内へ入ったらゴミだらけで水道も止められていた。とりあえず団地の管理者に水道の再開と見回りを依頼し、地域包括支援センターにも見守りを依頼し、ごみは行政へ連絡し片付いた。今後は団地管理者に任せれば良いのか、民生委員はどこまで関わるべきなのか分からない。こんな対応で良かったのか? 他の方にもお聞きしたい。

他参加者の意見・情報

- ・私の地区にも同様なケースでほぼ1人の委員がかかりきりになる例があり、問題だと認識している。
- ・私の地区は、ごみ出しの出来ない高齢者については、「同じ棟の住民に依頼する」「社協のボランティアに1時間500円で依頼する」など、ごみ出しを依頼可能な方に依頼する、という解決策を見出している。

市川教授のコメント

- ・この発題は、自治会や行政などに「つなぐ」ことが大切だというケース。
- ・電気や水道など、「生活インフラは止めてはならない」が原則、まずつなぐ、そしてつないだ中で民生委員児童委員としての役割を考えることが必要。つなぐ先は行政の他、社協のコーディネーター・ワーカーにつなぎ相談することが大切。
- ・このケースでは、民生委員児童委員が団地の管理者に水道再開や見回りを依頼し、地域包括支援センターへもつないだとのこと、良い対応だと思います。

※この他、参加者からは「生活困窮者に関わる、生活福祉資金や生活保護へのつなぎ」「民生委員児童委員としての役割」「社協役員にも就いているが、民生委員としての役割と社協役員としての役割区別をどう理解すればよいか?」「個人情報の取り扱い」など、市川教授の助言も交え、参加者同士で情報交換が行われました。



長野市内の民児協会会長参加会場の様子

新しい広報委員のご紹介

今後3年間よろしくお願いします!

荒深 たつ子(安曇野市)・池田 鐘三(佐久市)・林 みな(岡谷市)・唐木田 恵実子(千曲市)